

附属病院多用途型トリアージスペース整備事業 (国立大学法人施設整備費補助金)

現 状 ・ 課 題

※トリアージ：重症・軽症等を選別すること

- 感染症罹患の有無を検査等するためのスペースが無い。
- 感染症流行時に自然災害が発生した場合でも、患者を適切にトリアージ※できるスペースが無い。

➡ **コロナ禍において、患者を通じた院内感染の発生リスクを防止するため、検温やPCR検査等の実施が可能な施設の迅速な整備が必要！**



《テントを設置し対応》

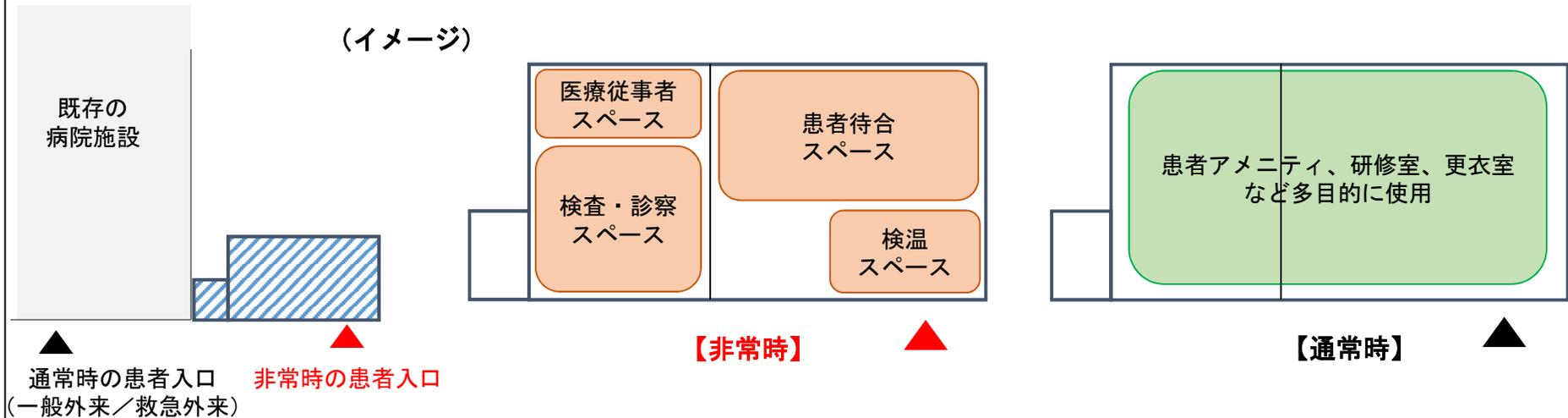


《プレハブを設置し対応》

取 組 方 策

- ☑ 感染症流行時には検査や患者トリアージスペース等に活用できるフレキシブルな施設を整備
- ☑ 通常時は患者のアメニティや研修室、更衣室等としても使用

(イメージ)



期待される効果

★新たな感染症の流行や自然災害の発生など不測の事態が生じた場合でも、**地域医療の最後の砦である国立大学附属病院がその機能・役割を發揮**するとともに、**大学の教育・研究機能を引き続き確保**